

数学受験は不利です。

私立大学を受験する上で、基本は学校の私立文系クラスの「英語・国語・社会」です。ここで、「社会を数学で受験する」という話を例外的に紹介しましたが、ほとんどの大学受験においては、「数学で受験すると不利」です。社会は、ほぼ満点が取れる教科であります。数学はちょっとした計算ミスなどで、高得点を取りそこなう可能性があります。私は数学が専門ですが、「社会のかわりに数学で受験せよ」とは、普通言いません。例外的に、数学が突出した生徒や、例外的な学部を受験する場合のみです。

一昨年、福岡大学法学部に合格した生徒が、社会の代わりに数学受験でした。しかし、経済学部と商学部には不合格で、法学部のみ合格でした。本来、経済学部や商学部の方が数学受験者を評価すべきなのですが、西南大学や福岡大学あたりでは、数学受験者を優遇する様子はないようです。つまり、一般的な受験では「数学より社会」です。

私は高校2年生の9月になっても、数学の偏差値は52でした。中学3年生の時は、地元の模試で数学だけは一番の成績だったにも関わらずです。そこで、今では有名な「チャートを3周」勉強しました。毎日5題解きました。すると11月の模試では偏差値58。そして、1月の模試では「180点取れた！」と思ったのですが、大問の(1)でいきなり計算ミスで、その大問40点丸ごと落として140点でした。しかし、偏差値65で旧帝大に50人以上合格させている高校で50番の成績でした。このように、数学は計算ミスをします。もう少し言いますと、高校3年生に上がって、浪人生や中高一貫生が模試に入ってきますと、それだけの圧倒的な力でも「偏差値58」のまま一学期が終わってしまいました。焦った私は、高3になって「チャートを毎日10題」解き続けました。それでも、偏差値は58のまま。困り果てて、夏休みは「チャートを毎日15題」解き続けました。すると、9月の模試では偏差値73でした。ベビーブーム世代で、大学の定員と同じ人数浪人生がいるような時代でしたから、今の偏差値70台とは価値が違います。この時も、「97点取れた！」という手ごたえがありましたが「93点」しか取れていませんでした。計算ミスです。このように、計算ミスで数学は社会より不利な部分があります。

そして、夢を壊すようで悪いのですが、私が繰り返し言っている「大学受験で、数学は不利」という原因ですが、「高校の数学以外も出る」という点です。

高校で習う数学だけなら、なんとかなります。そういう出題をしてくれる大学もあります。しかし、センター試験をはじめ、久留米自習室から東大・九大などに合格して行った生徒たちが点を取れてない現実には、大学入試の数学には、小学生の中学受験算数などが出されるという事です。ちなみに、私が数学が得意なのは、小学生の頃に学校の算数に落ちこぼれて、算数塾に通っていたからです。そこで、中学入試の算数まで鍛えられました。個人的には、私立中学に通わなくてもいいと思っています。しかし、医学部受験を予定している生徒さんたちだけは、私立中学に通わなくても、せめて小学生の内に中学受験の算数だけはマスターしておいた方が良いでしょう。小中学生の間の努力がなければ、医学部に合格する方法はものすごく限られたものになってきます。